

5月6日(水曜日)「ソロモン(8)栄華の極み」

【新改訳 2017】

Ⅰ 列王記 10・1－29

「ソロモン王は、富と知恵において、地上のどの王よりまさっていた。全世界の者は……ソロモンに謁見を求めた。彼らは……銀の器、金の器、衣服、武器……などを……携えて来た。」(23-25節)

この章には、ソロモンがいかに栄華を極めたかの一端が記されています。シェバの女王の来訪は有名な話です。彼女のすべての質問をソロモンは解き明かし、彼女は、ソロモンの知恵、彼が建てた宮殿、彼が主の宮でささげたいけにえなどを見て驚嘆しました。

一年間にソロモンのところに入って来た金は、約22・6トン。このほか通商貿易でも入りました。盾や大盾にもふんだんに金を使い、王座は大きな象牙で作られ、純金をかぶせたものでした。戦車や騎兵の軍事力も強大なものでした。

神はこのように、先に約束されたとおりソロモンを祝福してくださいました。後に主イエスも、「栄華を窮めたソロモン」(マタイ6・29参照)と言われたほどです。

～祈り～

主よ。あなたの祝福の確かさと大きさのゆえに御名を賛美します。どうか、今の時代に、あなたが、信じ従う者に与えて下さる祝福にあずかせてください。

【学びのために】

マタイ6・25-34(特に29・30節)参照。